学校番号	１０３

令和２年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 政治･経済」(第一学習社)						
副教材等	政治・経済資料２０２０　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治経済の授業では教科書・資料集とプリントを利用した授業を行います。もちろんプリントを利用した学習も重要ですが、「政治」「経済」は世の中の動きに直結する科目なので、実際の社会の変化を見ていくのも重要です。日々テレビ・新聞・インターネットなど各種メディアに触れ、時事問題と授業のつながりを理解できるようになると､授業に対する理解がより深まることになるでしょう。
現代社会は大きく動いています。特に経済分野は日々大きな変化が発生しています。そのような時代だからこそ、皆さんとともに広い視野で学ぶことは、これから社会で活躍する皆さんにとって大きな武器になると考えています。さあ広い世界を一緒に見に行きましょう。

２　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	・ワークシート ・レポート ・授業態度 ・発問評価 ・主題学習においては振り返りシート ・定期考査	・定期考査 ・ワークシート ・ノート提出 ・発問評価 ・主題学習においてはレポート表現方法	・定期考査 ・ワークシート ・主題学習においては発表の仕方	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・主題学習においては発表内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	**第1編　現代の政治　第1章**民主政治の基本原理と日本国憲法	**①政治と法の機能** ・民主政治の本質を把握しながら，政治と私たちとの関わりについて理解する。	○	○		○	a:・私たちの生活が，政治と深く関わっていることについて，意欲的に理解を深めようとしている。 b:・政治の動向が，私たちの生活に直接関係していることを，具体的事例をあげながら考察している。 d:・政治と私たちとの関係から，民主政治のあり方について理解している。	ワークシート 定期考査 発問評価
		②人権保障と法の支配 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら，人権保障の国際的な広がりについて考察する。	○	○		○	a:・自由権から社会権へと拡大されていった人権保障の背景について，意欲的に理解を深めようとしている。・世界の人権保障の状況について，関心を高めている。 b:・自由権と社会権の違いをまとめ，現代の人権について考察している。 d:・基本的人権を獲得するまでの経緯について理解している。	ワークシート 定期考査 小テスト
		③議会制民主主義と世界の政治体制 ・民主主義の発展について理解するとともに，各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。		○	○	○	b:・民主主義の発展と議会制民主主義の意義について考察している。 c:・各国の政治体制や民主主義の状況を，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d:・現代の政治の特質について，幅広い視点から理解している。	レポート 定期考査

		④日本国憲法の基本原理 **⑤平和主義と自衛隊** ・日本国憲法の成立過程を把握しながら，日本国憲法の三大原理について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し，それぞれの憲法の本質について理解する。 ・天皇の地位と役割について，国民主権と関連させて理解する。 ・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。	○	○	○	○	a: ・日本国憲法の三大原理について，憲法の条文と絡めながら，意欲的に理解を深めようとしている。 a:・国際情勢の変化とともに，憲法改正論議が起きていることについて，関心を高めている。 b: ・日本国憲法の成立過程を学習しながら，大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察している。 b:・日本国憲法の三大原理および天皇の地位と役割について考察している。 b:・自衛隊に対する政府の解釈の推移を，さまざまな観点から考察している。 b:・日本の防衛政策の基本原則と，自衛隊の海外派遣について，相互に関連させながら考察している。 c: ・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 c:・憲法や自衛隊に関する資料を，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: ・日本国憲法の成立過程と三大原理，天皇の地位と役割について理解している。 d:・日本国憲法と自衛隊をめぐっては，何が問題になっているのか理解している。 d:・集団的自衛権，ＰＫＯ，シビリアン・コントロールなどの用語を理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑥基本的人権の保障と新しい人権 ・個人の尊厳，自由，平等などの社会的価値について把握しながら，権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権，参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め，その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら，権利と義務との関係や,「公共の福祉」の概念について理解する。	○	○	○	○	a:・基本的人権や新しい人権について，意欲的に理解を深める態度を身につけている。 a:・自己の権利を追求し，保障される必要性と，他者の権利を尊重する義務があることについて，意欲的に理解を深めようとしている。 b:・個人の尊厳や法の下の平等の普遍的価値について考察している。 b:・基本的人権の内容を理解し，その上で，新しい人権を考察している。 c:・人権に関する判例を活用しながら，権利と義務・責任,「公共の福祉」について，相互に関連させながら考察している。 d:・個人の尊厳や法の下の平等について正しく認識し，あらゆる差別を撤廃しなければならないことを理解している。 d:・自由権や社会権といった基本的人権の日本国憲法上の諸規定と新しい人権の内容について理解している。 d:・人権を主張する際，時として「公共の福祉」が絡むことを理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑦国会の組織と立法 ・国会，内閣，裁判所などの政治機構にふれながら，主権者としての政治に対する関心を高めるとともに，それぞれの役割について理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について，問題点も含め，幅広い視点から考察する。	○	○	○		a: ・国会，内閣，裁判所の関係と，それぞれの役割について，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・日本国憲法下での立法，行政，司法のあり方について，問題点も含め，幅広い視点から考察している。 c: ・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 c:・国会，内閣，裁判所に関する題材を，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価
		・二院制の意義や法律の制定過程，衆議院の優越など，国会に関する基本的事項について把握しながら，国会の課題についても関心を高める。	○	○		○	a: 国会で話題になっている出来事について，関心が高まっている。 a:・少ない議員立法や参議院のあり方など，国会の課題について関心が高まっている。 b: ・二院制の意義や，衆議院と参議院の違いについて考察している。 b:・法律の制定過程を，衆議院の優越と絡めて，考察している。 d: ・法律の制定過程や委員会制度，衆議院の優越など，国会のしくみを理解している。	ワークシート 定期考査 小テスト

		⑧内閣の機構と行政 ・現代の福祉国家の下では，国家機能が複雑化・大規模化して，行政府の役割が増大したことを理解する。	○	○		○	a：・行政国家化や官僚制の弊害，行政改革の流れと現状について，意欲的に理解を深めようとしている。 b：・内閣と内閣総理大臣の権限や，日本の各省庁の役割について考察している。 d：・国会と内閣の関係を理解しながら，内閣の権限について理解している。 d：・公務員制度をめぐる課題やこれまでの行政改革について理解している。	ワークシート 定期考査
		⑨裁判所の機能と司法制度 ・裁判員制度について理解し，報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに，刑罰の意義や犯罪被害者の救済，犯罪者の更生について関心を高める。	○	○	○	○	a：・裁判のしくみや裁判員制度に対して，意欲的に理解を深めようとしている。 b：司法制度改革について，どのようなことが取り上げられているのか理解し，問題点を含めて考察している。 c：・裁判員制度のしくみとその意義，犯罪被害者の救済，犯罪者の更生などについて，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d：・司法権の独立や，裁判所に違憲法令審査権が認められていることを理解している。 d：・裁判のしくみや裁判員制度について理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑩地方自治制度と住民の権利 ・地方自治の本旨を把握しながら，地方分権と住民の権利について理解し，国と地方の関係を考察する。 ・地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め，報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。	○	○	○	○	a：・地方自治の本旨について学びながら，地方分権について意欲的に理解を深めようとしている。 a：・地方自治における住民の権利について，意欲的に理解を深めようとしている。 b：・国と地方との関係を，地方分権をもとに考察している。 b：・ＮＰＯの役割や，ＮＰＯの地域における活動について考察している。 b：・地方財政の悪化について，その原因を含めて考察している。 c：・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d：・地方自治制度と国政の違いについて理解している。 d：・住民が地方自治に参加する手段として，直接請求があることを理解している。 d：・近年の住民投票の例をまとめながら，その目的と問題点を理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑪政党政治と選挙制度 ・日本の選挙制度について把握しながら，政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 ・政党政治や選挙，国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら，政治への関心を高める。 ・選挙結果や投票率の動向などを，さまざまな情報手段を活用して調査し，主権者としての参政のあり方について考察する。	○	○	○	○	a：・選挙制度のしくみや問題点について，意欲的に理解を深めようとしている。 a：・投票率の低下や政治的無関心の広がりを認識し，主権者として主体的に政治に参加する必要性について，意欲的に理解を深めようとしている。 b：・それぞれの選挙制度の長所と短所を把握しながら，日本の選挙制度について，一票の格差などの具体例をもとに考察している。 c：・選挙結果や投票率の動向などを，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d：・政党や圧力団体の意義やその役割について理解している。 d：・選挙制度の種類や，現在の日本の選挙制度について理解している。	ワークシート レポート 定期考査 小テスト
		⑫民主政治における世論の役割 ・マス・メディアの役割と問題点を理解し，世論の果たす役割が大きいことについて理解する。 ・特定の政治的志向をもたない人々の増大や，政治的無関心の広がりについて考察する。	○	○		○	a：・国民が政治に参加する手段のひとつである世論の形成には，マス・メディアの影響が大きいことについて，意欲的に理解を深めようとしている。 b：・マス・メディアの政治や世論に対する影響や，その役割を考察している。 b：・世論と政治との関係を，マス・メディアの活動をもとに考察している。 d：・マス・メディアがもつ影響力を把握しながら，報道は一つの判断材料であることを理解している。	ワークシート 定期考査 発問評価

	第1編　現代の政治　第2章現代の国際政治と日本	**①国際社会と国際法** ・国際社会の成立過程を把握しながら，実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。 ・国際政治と国内政治の違いや，国際法や国際裁判の意義を理解する。 ・グローバル化の進展により，国際社会ではＮＧＯや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。	○	○	○	○	a：・現在，世界で起きているさまざまな出来事について，関心が高まっている。 a：・国際裁判にはどのような種類があるか，具体的事例を挙げて，意欲的に理解を深めようとしている。 a：・国家をこえて活動するＮＧＯが，国際政治に与える影響について，関心が高まっている。 b：・国際社会では，主権国家以外に多くの組織が存在し，活躍していることを考察している。 c：・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d：・国際社会の成立過程や国際裁判について理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価
		②国際連合の組織と役割 ・国際連盟と国際連合の違いを把握しながら，国際連合の役割，国際連合が抱えている課題について理解する。	○	○	○	○	a：・国連やさまざまな国際機関が，国際社会の諸問題にどのように取り組んでいるかについて，関心が高まっている。 b：・国連の果たす役割について把握しながら，国連の抱える問題点などについても考察している。 c：・国連の役割と課題について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d：・国際連合や国際機関だけではなく，ＮＧＯなどのさまざまな組織も，国際平和のために貢献していることを理解している。	ワークシート レポート 定期考査 小テスト

		③国際政治の動向 **④国際紛争と難民問題** **⑤軍備管理と軍縮** **⑥日本の外交と国際平和への役割** ・冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに，冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 ・民族紛争を例に，複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに，国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 ・軍縮や国際平和に関する問題について，メディアを利用して調査し，国際平和のために日本が貢献できることについて，多角的な視点で考察する。	○	○	○	○	a：・冷戦終結後の世界が，冷戦時代と比べて，どのように変化したかについて，意欲的に理解を深めようとしている。 a：・国際紛争が起こるさまざまな要因について，意欲的に理解を深めようとしている。 b：・民族紛争などを例に，複雑な国際関係を，幅広い視点から考察している。 b：・人種・民族問題の解決に向けて，どのような取り組みが求められているか考察している。 b：・人種・民族間には文化や宗教の多様性があることを考察している。 b：・国際平和のために，日本が貢献できることは何かについて，さまざまな角度から考察している。 c：・新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して，国際紛争や民族対立が勃発している地域の情勢について調査している。 d：・冷戦期の国際社会の出来事について理解している。 d：・冷戦終結後の世界には，新たな問題が起きていることを理解している。 d：・人種・民族・宗教の差異がなぜ紛争に発展するのかを理解している。 d：・世界における核兵器の現状と核廃絶に向けた取り組みについて理解している。	ワークシート レポート 定期考査

二学期	第2編　現代の経済　第1章現代経済のしくみと特質	**①経済社会の発展** ・資本主義経済の特徴を，社会主義経済の特徴と比較しながら，現代経済の特質について理解する。	○	○		○	a：・経済の基本的なしくみについて，意欲的に理解を深めようとしている。 a：・資本主義の成立・発展と，社会主義国の経済体制の現状について，関心が高まっている。 b：・社会主義経済が変容し，多くの国では市場原理を導入していることをふまえながら，社会主義国の現状について考察している。 d：資本主義経済の課題と「大きな政府」「小さな政府」の違いについて理解している。 d：・原則通りの社会主義国は極めて少ないことを理解している。	ワークシート 定期考査 発問評価 小テスト
		②経済主体と経済活動 ・家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 ・株式会社とはどのようなものか，所有と経営の両面から理解するとともに，企業の社会的責任について関心を高める。	○	○	○	○	a：三つの経済主体が，どのように経済活動を営んでいるかについて，意欲的に理解を深めようとしている。 a：・企業が経済活動以外で求められる社会的責任について，関心が高まっている。 b：・家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているか，幅広い視点から考察している。 c：・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d：・株式会社とはどのようなものであるかを，所有と経営の両面から理解している。	ワークシート レポート 定期考査

		③市場経済の機能と限界 **④経済成長と景気変動** ・市場の基本である「需要と供給との関係」について，正しく理解する。 ・独占，寡占状態の市場での消費者に対する影響と，その弊害を排除するための措置について理解する。 ・国民所得の構成や景気変動，経済成長について，諸資料を利用して，日本と諸外国の現状を比較する。	○	○	○	○	a：・景気変動に対する経済政策について関心が高まっている。 b：・独占や寡占の弊害を取り除くために独占禁止法が定められていることをふまえて，市場における競争について考察している。 c：・日本や諸外国における，国民所得の構成や景気変動，経済成長の現状について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d：・需要曲線と供給曲線の意味と，それらがどのような場合にシフトするかを理解している。 d：・現実には，市場の失敗など，価格機構が十分に機能しない場合があることを理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑤物価の動き **⑥財政のしくみとはたらき** **⑦金融のしくみとはたらき** ・物価の変動要因を理解するとともに，物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 ・金融のしくみや役割，日本銀行の金融政策，金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 ・財政の基本的なしくみや役割，租税の意義について理解しながら，その使途について関心を高める。	○	○	○	○	a: ・身近な商品の物価の変遷を調べることなどによって，物価について関心を高めようとしている。 a:・金融政策や財政政策にはどのようなものがあるか，意欲的に理解を深めようとしている。 a:・具体的な経済政策をもとに，現代の経済について考察しようとしている。 b: ・デフレは景気後退や不況と結びついて経済に影響を与えることを理解し，物価の安定が政府・日銀の重要な政策であることを考察している。 b:・金融市場の種類や金利の動向について考察している。 b:・景気対策としての金融政策や財政政策について，理解を深めながら考察している。 c: ・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 c:・日本の財政の現状や公債残高の膨張をめぐる議論について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: ・インフレとデフレの意味と物価の変動が国民経済に与える影響について正しく理解している。 d:・経済成長の健全な発展のためには，金融政策が重要であることを理解している。 d:・国民生活における租税の意義と役割について理解している ・日本の公債残高は巨額であることを理解しながら，財政政策や金融政策の重要性について理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑧日本経済の歩み ・人々の生活が豊かになる一方で，公害などの社会問題が発生したことを認識する。	○	○		○	a: ・戦後復興期・高度経済成長期・安定成長期・バブル経済崩壊後のそれぞれの日本経済の特徴について，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・石油危機やバブル崩壊などの具体的事例をもとに，金融政策について考察している。 d: ・戦後日本の経済の流れと現在の日本の経済状況について理解している。	ワークシート 定期考査 小テスト
		⑨中小企業の地位と役割 ・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。	○	○	○	○	a: ・大企業と中小企業における格差や，下請け関係とはどのようなものか，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・独自性を持ち，系列に縛られない中小企業もあることを考察している。 c: ・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d: ・中小企業と大企業の違いについて理解している。	ワークシート レポート 定期考査
		⑩農業の現状と課題 ・日本の農業が直面している課題について理解する。	○	○	○	○	a: ・食料自給率の低下と日本の農業のあり方について関心が高まっている。 b: ・農業の自由化と保護政策について，それぞれの必要性と今後の日本の農業政策について考察している。 c: ・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d: ・日本の食料自給率は他の先進国と比べて低いことについて理解している。	ワークシート レポート 定期考査

		⑪消費者問題 ・クレジットやローンなどが日常生活で果たしている役割と，多重債務問題について理解する。	○	○	○	○	a: ・さまざまな消費者問題や，消費者保護政策について，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・生活が豊かになる一方で，消費者が被害を受ける事件が後を絶たないことについて考察している。 c: さまざまな消費者問題とそれに対する消費者保護政策・関係諸法の内容について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: ・消費者問題に関する被害の現状と対策や，企業の社会的責任について理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価
		⑫高度情報社会の進展と課題 ・情報化が政治・経済・国民生活に及ぼす影響や，高度情報社会の課題について理解する。	○	○		○	a: ・情報化のメリット・デメリットを理解し，課題解決に向けてどのような措置をとるべきか関心が高まっている。 b: ・高度情報社会におけるさまざまなメディアの役割とそれらの特性の違いについて考察している。 d: ・高度情報社会の特徴やメディアを活用する際の注意点について理解している。	ワークシート 定期考査 小テスト

		⑬労働問題 ・労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 ・メディアを利用して，若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。	○	○		○	a: ・社会構造の変化によって新たな労働問題が生じていることに関心が高まっている。 b: ・男女雇用機会均等法や障害者雇用促進法などが実際に守られているかどうか考察している。 d: ・労働基本権と労働三法の意味について理解している。 ・今日のさまざまな労働問題や労働政策について理解している。	ワークシート 定期考査 発問評価
		⑭社会保障制度の充実 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに，現在の制度上の問題点と課題について考察する。	○	○		○	a: ・少子高齢化の影響により，社会保障制度のあり方が論議されていることに関心が高まっている。 b: ・社会保障制度に対して，歴史的変遷や各国の制度上の差異について考察している。 d: ・年金・医療・介護など，それぞれの社会保障制度とその課題について理解している。	ワークシート 定期考査 小テスト

		⑮環境保全と資源・エネルギー問題 ・化石燃料・原子力発電・新エネルギーのそれぞれの違いとメリット・デメリットを理解する。 ・深刻化している地球的規模の環境問題に関心をもち，どのように乗りこえるべきか考察する。	○	○	○	○	a: ・日本のエネルギー政策について，関心が高まっている。 a:・地球環境に対するさまざまな国際会議や条約について，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・これまでの日本のエネルギー政策の課題や，新エネルギーの普及と現状などについて考察している。 b:・地球環境問題やエネルギー問題の原因と対策について考察している。 c: ・火力発電・原子力発電・新エネルギーによる発電のそれぞれの特徴について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: ・日本で発生した公害と，公害に対する政策や，循環型社会に向けた取り組みについて理解している。 d:・持続可能な開発のためには環境保護政策が不可欠であることを理解している。	ワークシート レポート 定期考査

	第２編　現代の経済　第２章　国民経済と国際経済	**①国際経済のしくみ** ・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 ・国際収支の基本的な構成を把握しながら，経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 ・為替相場のメカニズムについて把握しながら，円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。	○	○		○	a:・円高や円安が，国民経済にどのように影響するかについて，関心が高まっている。 b:・自由貿易と保護貿易の違いや，自由貿易が経済に与える影響を考察している。 b:・円高と円安では，どのような違いがあるのかを，身近なモノを例に考察している。 c:・教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:・国際貿易のしくみについて，正しく把握している。 d:・国際収支をもとに，日本の貿易の状況を理解している。 d:・円高と円安の意味と為替相場の変動の理由や影響を理解している。	ワークシート 定期考査 発問評価

		②国際協調と国際経済機関の役割 **③地域的経済統合** **④グローバル化する経済** ・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡについて関心をもち，諸資料を利用しながら具体的に考察する。 ・グローバリゼーションにともなうヒト，モノ，カネの国際的な移動が，国際経済に与える影響について，関心を高める。	○	○	○	○	a: ・ＧＡＴＴの歩みと，ＷＴＯの役割について，意欲的に理解を深めようとしている。 a:・グローバリゼーションの現状や課題，地域的経済統合などについて，関心が高まっている。 a:・ヒト，モノ，カネの国際的な移動が，世界経済に与える影響について，関心が高まっている。 b: ・地域的経済統合の例を，世界地図で示しながら，具体的に考察している。 b:・ＦＴＡやＥＰＡの最近の情勢について，日本が直面している問題について考察している。 c: ・さまざまな地域的経済統合の実情や，ＦＴＡ・ＥＰＡが国内経済に与える影響について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。 d: ・国際協調のために，どのような国際機関が存在するか理解している。 d:・現在のＦＴＡ・ＥＰＡの動きを把握し，協定のメリット・デメリットについて理解している。	ワークシート レポート 定期考査 発問評価

		⑤南北問題と日本の役割 ・先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら，日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。	○	○		○	a: ・日本が国際社会に果たすべき役割について，意欲的に理解を深めようとしている。 b: ・多国籍企業の動向に関して，日本企業の海外での現地生産や産業の空洞化について，考察している。 d: ・南北問題と新興国の現状，日本のＯＤＡなどについて理解している。	ワークシート 定期考査
三学期	**第３編　現代社会の諸課題**	**主題学習** **・少子高齢社会と社会保障** **・人種・民族問題と地域紛争**	○	○	○		a: ・現代が抱えている課題について，関心を高めている b: ・それぞれの課題について，考察・調査した成果を，話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現している。 c: ・日本や国際社会の諸課題について，新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集・調査している。	ワークシート レポート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。